

# 2020 年秋季 日本サーフィン連盟 公認ジャッジ資格試験

## 第二部 筆記問題 解答用紙

受験番号	受験級 (○印)	受験会場 (○印)
	A ・ B ・ C ・ D	仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 愛知 ・ 福岡 ・ 沖縄

問題 1 ジャッジ基準(ジャッジクライテリア)を記述せよ。

※英文またはカタカナ、日本語でも可

- a) Commitment and degree of difficulty / 積極性及び難易度の高さ
- b) Innovative and progressive manoeuvres / マニューバーの革新性と進歩性
- c) Combination of major manoeuvres / メジャーマニューバーの結合性
- d) Variety of manoeuvres / マニューバーの種類豊かさ
- e) Speed, power and flow / スピード、パワーそして流れ

問題 2 妨害を判定する基準及び順序を記述せよ。

- 1. どのような波か? (ライトブレイク、レフトブレイク、オープnbレイク、マルチピークブレイク)
- 2. どの選手に優先権があるのか? (ノンプライオリティ or プライオリティ)
- 3. スコアリングポテンシャルを妨げたか否か?
- 4. どの妨害のルールに当てはまるのか?

問題 3 スコアリングカテゴリーの用語と数字を記述せよ。

POOR	( 0.1 ~ 1.9 )
FAIR	( 2.0 ~ 3.9 )
AVERAGE	( 4.0 ~ 5.9 )
GOOD	( 6.0 ~ 7.9 )
EXCELLENT	( 8.0 ~ 10.0 )

問題 4 ジャッジが現場で心掛けるべきことを5つ記述せよ。

- 1.
- 2.
- 3. ※ジャッジテキスト 2019 年 10 月改訂版 9 ページ 〈 現場で心掛けるべきこと 〉 の 1～9 を参照。
- 4.
- 5.